



アンサンブル・ミカニエ
Ensemble Mikanier

第14回定期演奏会

— *STAND ...* —

2021.11.23 (火・祝)

和歌山城ホール 小ホール

Greeting

『小さくとも逞しく』

もうマスクのない生活がどのようなものであったかすら忘れそうになる日々が続きます。しかしながら、2年間にも及ぶコロナ禍の中「アンサンブル・ミカニエ」は何とか工夫をしながら練習を重ね、演奏会にこぎつけることが出来ました。しかも、千原先生をお招きし、本日は公募参加者を含めた演奏会を開催します。すべてのことが徐々に戻って行ってくれることを願っています。

さて、本日の演奏会も内容は盛りだくさんです。日本語によるロマン派大作曲家シリーズもいよいよブラームスを取り上げるに至りました。もちろん、原詩の持つ味わいを超えるものはありませんが、クラシカルな楽曲や大作曲家の諸相を味わうことへの入門となれば、と考えております。また、「エスノ・ラップ・ミサ」は、合唱の世界にあまりなかったような世界観とスケールとテイストで、本日が記念すべき混声版全曲初演ともなります。若き芸術家の飛翔と失敗と再チャレンジとを神話的なテキストに落とし込んだ多層的な作品で、このような作品を作曲者と公募参加者とともに作り上げることに合唱の醍醐味とミカニエのバイタリティを感じます。互いに用心深く小さくともし合った明かりで、励まし合うことが大事だと思っています。いつか手を繋ぎ、抱きしめ合い、身体ごと共感出来る日が来ることを信じています。

音楽監督 伊東 恵司/みなづきみのり

Profile

指揮 伊東 恵司



児童・混声・女声・男声…あらゆる形式・ジャンルの合唱指導を行い、全日本合唱コンクール・宝塚国際室内合唱コンクール等でグランプリ、金賞、特別賞を多数受賞。世界合唱シンポジウムでは2度にわたり(ソウル・バルセロナ)特別招待演奏団体(「なにわコラリアーズ」「Ensemble Vine」)に選出される等、海外公演も多数。現在は、全国各所で講習会講師や審査員を務めるだけでなく「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル(京都)」「コーラスめっせ(大阪)」の主催や「小中高の音楽教師向け講習会」の企画等、合唱の広がりを目指した活動を行い各方面の注目を集めている。

JCDA日本合唱指揮者協会理事・同関西支部代表、全日本合唱連盟子どもコーラス委員。カワイ出版より「スチューデントソングブック(1・2)」 「合唱エクササイズ(育成編・運営編)」他、ブレーン株式会社より「合唱のイントロダクション」を上梓。

Greeting

『城ホール誕生』

「和歌山城ホール」が誕生しました。一般での貸し出しはなんと11/23からとのことで、単独コンサートとしては小ホールの柿落としとなるわけです。全面に木を使用されており、また、ホール内に漂う木の香りは、自然溢れる「木の国」わかやまらしさを感じます。

本年のミカニエは、遠隔地メンバーや職業柄参加がかなわないメンバーがいることもあり、音楽的な面で苦戦しています。そんな中であって、実はベースパートに新たに3人もニューフェイスを迎えられたことは地方の混声合唱団にとって稀有なことです。いずれも非常に優秀な歌い手であるだけでなく、さまざまな場面で団を支えてくれているのが何より嬉しいことです。同時に女声が男声より少ないという現象が起きており、今後新しい女声メンバーを迎えたい気持ちは団全体の想いとしてこのホールにも漂っていることでしょう。

さて、またまたプログラムは充実しております。「ロマン派の名曲を日本語で歌う」「合唱ポップス」という、合唱音楽をより親しみやすいものとして広めていくプロジェクトはそれぞれ5年目、3年目に突入しております。完全版を演奏する超大作「エスノ・ラップ・ミサ」、上田真樹先生の「終わりのない歌」はボリュームを求めて公募ステージとして取り組むこととしました。公募ステージといえば大抵1ステージかと思いますが、“枠にはまる体型ではないのだから”の精神です。多くの方々の共感を得られ、心強く練習を重ねてきました。

そして、“ハイブリッド演奏会”から更に進化した“真・ハイブリッド演奏会”と位置づけ、リアル鑑賞だけでなくライブ配信、さらに完全買い切りタイプのアーカイブ配信もご用意しました。今後の演奏会の新しい形として、ひとつの道標となればとの想いです。

さあ、新しいホールとミカニエ、私自身は信頼する矢吹直美先生との共演、伊東先生と千原先生の掛け合いなど、見どころ満載な演奏会です。みなさまどうぞ余すことなく刮目してご覧いただければ幸いです。

※余すこと“ある”方はぜひ「視聴無期限」のライブ配信“も”お買い求めいただければと思います。

次回も和歌山城ホールにて11/3に第15回定期演奏会を開催予定です。次回はいよいよ松本望先生のピアノとともに「合唱ポップス 混声版」が完成します。そして千原英喜先生の新作は「和歌山にゆかりのあるもの」を計画しているところです。今後も目が離せませんよ！

では、たっぷりどうぞ。

主宰 阪本 健悟

Profile

指揮 阪本 健悟



2007年「故郷和歌山の合唱文化の発展」と「新しい音楽の伝道」という理想の下、Ensemble Mikanierを立ち上げ、常任指揮者として指導している。宝塚国際室内合唱コンクールには初挑戦の第30回より6年連続で出場し、銀賞2回、銅賞3回受賞、JAF KIDUNA合唱コンクール2014関西大会最優秀賞にそれぞれ導く。現在はEnsemble Mikanierとともに「ロマン派の名曲を日本語で歌う」「合唱ポップス」などを委嘱初演し、親しみやすい新しい合唱音楽を創出しフリークエンスを高める活動をしている。

また、学生時代の運営・技術経験を活かし、若い世代にむけては、公立中学校合唱部への出張指導、高文連講習会での講師などを通して「一生続けていける歌」を伝えるべく尽力している。「見た目の割に繊細な指揮」と評されることも多く、特に言葉や情感を大切に細やかな音楽作りには定評がある。現在Ensemble Mikanier、女声合唱団Mimosa、紀の国わかやま合唱団を指揮している他、和歌山県合唱連盟副理事長・事務局長、関西合唱連盟理事、JCDA日本合唱指揮者協会会員・同関西支部事務局次長を務めている。

Greeting

世の中が少しずつ動き出してきている。だけど以前とは違う形に変化している。メンバーも練習環境も。そんな中、休むことなく懸命に練習に取り組んでいる"アンサンブル ミカニエ"。私は毎月1回、全体の発声と個人ヴォイストレーニングをレッスンさせていただいている。合唱であっても、個々が自主性を持って歌うことは全体アンサンブルに大きく影響するの言うまでもない。その努力を少しずつ積み重ね、実践しているメンバー、それをまとめる指揮者、当たり前のことかもしれないけれど、コロナ禍の中変わらず演奏会に向けて歩み続けてきた皆さんに温かい拍手を送りたい。

今回も初演の作品が多く、いつも意欲的なプログラム。また国民文化祭の会場にもなった「和歌山城ホール」での開催。来年のレディースコーラスフェスティバルの会場にもなる予定で、和歌山が熱い！

ヴォイストレーナー 杉田 結里

Profile

ヴォイストレーナー 杉田 結里



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。声楽を、上西一郎、木川田温子、木村能里子の各氏に師事。第7回奈良県独奏・独唱コンクール第一位。第49回滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールに出場。2000年奈良県新人演奏会に出演。

第19回大阪国際音楽コンクール声楽部門歌曲コースにてエスポアール賞を受賞。第10回AMAピアノと歌と管弦のコンクール ヴィルトゾの部にて優秀賞受賞。第1回バーゼル国際声楽コンクールプロフェッショナルの部にて大府商工会議所会頭賞を受賞。

現在、レディースシンガーズSophiaの常任指揮者、Le・コスモスにて指揮者、合唱総合エンターテイメントグループ「よりどりみどり」にて副指揮者兼ヴォイストレーナー、Ensemble Mikanierにてヴォイストレーナーを務める他、コンクール審査員も務める。

近年はソロやアンサンブルを中心とした演奏活動や各地で合唱指揮者、ヴォイストレーナーとして活動している。大阪府合唱連盟理事。大阪樟蔭女子大学非常勤講師。

Ensemble Mikanier

アンサンブル・ミカニエ

『ミカニエ』とは『蜜柑の樹』という意味の日本語とフランス語の造語。活動拠点である地元和歌山に根付いた合唱団にしたいとの想いと、指揮者が学生時代所属していた、音楽監督である伊東恵司氏主宰の合唱団『葡萄の樹』に由来している。

これまで宝塚国際室内合唱コンクールにおいて銀賞2回、銅賞3回受賞、和歌山県ヴォーカルアンサンブルコンテストにおいて総合グランプリを含め一般部門で金賞3回受賞、JAF KIDUNA合唱コンクール関西大会において最優秀賞受賞。

現在、『ロマン派の名曲を日本語で歌う』をテーマに作曲家千原英喜氏、作詩家みなづきみのり氏とともに毎年『名曲集』シリーズを世に送り出しているほか、『合唱文化のフリークエンスを高める』ことを目的とした『合唱ポップス』や『合唱狂言』などの新しい合唱ジャンルを開拓していく予定である。

<https://www.mikanier.net/>

Profile

作曲 / 編曲 / ピアノ 千原 英喜



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学大学院修士課程修了。東京藝術大学芸術資料館作品買上。日本音楽コンクール作曲部門、新波の会・創作歌曲コンクール優秀賞、トリエステ国際コンコルソ(イタリア、トリエステ)、カール・マリア・フォン・ウェーバー作曲賞(ドイツ、ドレスデン)、グイード・ダレッツォ・コンコルソ(作曲部門/イタリア)などに入賞。作風は合唱曲・歌曲を中心に、ひとつに『志都歌』『万葉恋歌』など日本の古典文学、伝統芸能、民謡などを素材とする音楽。ふたつめに『おらしょ』『Ave maris stella—花も花なれ、人も人なれ』などのキリシタンものに代表される、日本の民俗(族)性や宗教性と西欧とのかかわり、東西の混濁をテーマにした音楽。みつつに『ありがとう』『みやこわすれ』など日本独自の歌謡性を取り入れた親しみある音楽。よつつめに『シューベルト・冬の旅』や『シンフォニー・トランスクリプション』など、合唱 = Classical Musicとしての認識と標榜 — 以上四本柱の人呼んで“千原ワールド”を展開中。

ピアノ 矢吹 直美



大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを武岡登士子、吉田順子、故山本史郎、合唱伴奏法を浅井道子の各氏に師事。アンサンブルピアニストとして主に合唱、声楽、器楽などと共演、国内外で様々な演奏活動を広げている。2008年、ウィーン・フォティーフ教会にて演奏。2009年、インドネシアにて茨木ロータリークラブ50周年チャリティーコンサートに出演。2014年、第7回耕友会コンサート「松下耕が描く谷川俊太郎の世界」に出演。2015年、ブルガリア・国立ソフィアフィルハーモニー定期演奏会、コソボ現代音楽祭に出演。第37回May国際合唱コンクール、第11回世界合唱シンポジウムinバルセロナに出演。朝来音楽祭出演。サントリー主催「万人の第九」ピアニスト。茨木市音楽芸術協会会員。大阪成蹊短期大学非常勤講師。やぶきピアノスクール主宰。

パーカッション 樽井 美咲



京都市立芸術大学管打楽専攻を首席で卒業。卒業に際し京都市長賞を受賞。同大学卒業演奏会、打楽器新人演奏会等に出演。第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、第1回ウーヴェルチュールコンサート最優秀賞受賞。マリンバソリストとして、Osaka Shion Wind Orchestraと共演。トンヨン市主催『Tongyeong International Music Festival』、韓国済州島にて開催された日中韓の文化交流の祭典『タムナ文化祭』に参加。関西を中心にオーケストラ、吹奏楽団に客演奏者として出演する他、室内楽やソロ演奏など幅広く活動。後進の指導、慰問演奏や学校公演など積極的に行う。これまでに西川夏代、松本真理子、伊藤朱美子、山本毅、名倉誠人、小森邦彦、堀内吉昌、竹原美歌、中村功の各氏に師事。一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団正団員。

「ブラームス名曲集」《委嘱初演》

愛の歌

子守歌

日曜日

弦楽六重奏曲第一番より 第2楽章

眠りの精

千原 英喜 編曲 / みなづきみのり 訳・作詞

指揮：阪本 健悟

「クラシック音楽の名曲を日本語で」というコンセプトで第10回定期演奏会から始まった本企画。シューベルト、シューマン、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、そして今回のブラームスへと続く。原曲の印象を損なわない合唱アレンジに、日本語の訳詞(時には作詞)を加えて、新しい魅力を見出している。今回は本シリーズ初の全曲無伴奏でお送りする。

愛の歌

ブラームスは同名の楽曲を複数書いている。この曲はほのかにレントラーの香りをたたえ、類いなく極上の美しさを持つ。

子守歌

ブラームスの知人の子供の誕生祝いに書かれた曲で、非常によく親しまれている。民謡風の旋律を持ち、聴き手を優しく眠りの世界に誘う。

日曜日

敬虔な安息日に、主人公が神様へ可愛いあの娘のそばにいたい、とお願いするという、なんともほのぼのした楽曲である。

弦楽六重奏曲第一番より 第2楽章

本ステージ唯一の2/4拍子。原曲で、ヴィオラによって奏される若々しく甘いテーマは、ベースによって重厚で高らかに歌い上げられる。

眠りの精

原題は「砂の精」。夜、子供たちの目に砂を撒いて眠くさせる妖精のこと。ふと自身の幼少期を懐かしく振り返ってみたくなる。

<ヨハネス・ブラームス 略歴>

1833年ドイツ・ハンブルクに生まれ、1897年オーストリア・ウィーンに没する。ピアノに対して早熟な才能を発揮し、レストランや居酒屋で演奏するなどして、家計を支えた。やがて作曲活動に専念するようになったのちも、彼の2曲のピアノ協奏曲は、自身のピアノで初演するほどの腕前であった。

ベートーヴェンを敬愛・崇拜し、音楽史上はロマン派にありながら、古典主義的形式美を追求し、厳しい自己批判を持つことで知られている。例えば「交響曲第1番」は、完成までに21年をかけ、名指揮者・ビューローをして「ベートーヴェンの交響曲第10番のようだ」と言わしめたほどであった。

また、ロベルト・シューマンに大絶賛され、世に送り出された。その後もシューマン夫妻との関係は長年に亘って続き、ロベルトが没したのちも、妻クララとその子供たちの世話に尽くしている。しかし、クララとの親密な関係は、単なる思慕に留まらない。彼女が没したのちも、足しげく墓に通い、ブラームスも彼女の後を追うようにして、その翌年亡くなった。

上田真樹作品集

～美しい旋律を、ことばをうたう～

終わりのない歌
君のそばで会おう
あなたのことを

上田真樹 作曲 / 銀色 夏生 作詩

指揮：阪本 健悟

ピアノ：矢吹 直美

【「恋の歌が歌いたいです！」

どんな曲にしましょうか、と訊いたわたしに彼らは即答した。】

以上は、混声合唱版に先立って出版された、男声合唱版『終わりのない歌』の楽譜前書きの冒頭文である。総勢100人を超える早稲田大学グリーンクラブ団員たちの熱意に押され、作曲家上田真樹氏は「爽やかな、それでいてちょっとほろ苦い恋の歌」としてこの組曲を書き上げた。

2011年に初演された早稲田大学グリーンクラブの演奏では、未成熟な学生100人が絶唱するからこそその感動があった。今回、人生の酸いも甘いも経験したEnsemble Mikanierと、“ちよいミカ”の皆様が共に歌うことで、この曲達は全く違う形に仕上がったように思う。今宵限りのメンバーでの『終わりのない歌』。是非、お楽しみいただきたい。

終わりのない歌

「時間をください 力をください 気持ちをください 終わりのない歌をください」

恋に自信を無くした「僕」が、この恋が終わらないようにと何かに縋るように願い続ける。宗教的な言葉や表現は一切使用されていないが、神への祈りのようなものすら感じる名曲である。

君のそばで会おう

「終わってしまった恋がある」という冒頭の歌詞から推察するに、「僕」の恋は終わってしまったのだろう。しかし相手への想いを断ち切ることが出来ない「僕」は、「いろんなところへ行ってきていろんな夢を見ておいでそして最後に君のそばで会おう」と独りよがりな夢を語る。

あなたのことを

単独での演奏では爽やかな恋の歌のように思える曲であるが、『終わりのない歌』『君のそばで会おう』と合わせて演奏することで一気に感想が変わるように思える。恋に破れ、独りよがりな想いを語っていた「僕」は「あなたのことを考えて歩こう」と未来への想いを語る。

松本望無伴奏作品集

— アカペラの色彩 —

はる — はっとするはる

ゆうやけ

樹の音

今日も空は晴れている 《委嘱初演》

松本望 作曲 / みなづきみのり 作詩

指揮：阪本 健悟

「みなづきみのり」はEnsemble Mikanierの音楽監督である指揮者 伊東恵司氏の作詩家としてのペンネームであり、氏が京都の街で生まれ育った経験からか、ありふれた日常の一幕を抒情的に描く作風が特徴的である。本ステージではみなづき氏の詩に松本望氏が作曲した4曲を演奏する。

はる — はっとするはる

2014年の「コーラスワークショップ in 紀の国」の講習会課題曲として作曲された本曲。はるに対する様々な思いを軽やかな3拍子で歌い上げる。曲中には「はる」という単語が頻出するが、目まぐるしく変化する調によって様々な「はる」の姿を描いている。

ゆうやけ

女声版が2014年度全日本合唱コンクール課題曲に選ばれるなど、両氏のタッグにより生まれた多くの楽曲を代表する本曲。「にしのそら」、「ももいろのくも」の中に沈んでいくゆうやけの情景を描いた曲である。「あしたがあるのだから」という歌い終わりに反して、どこか忘れてしまった少年時代の思い出を想起させる。

樹の音

組曲「歌が生まれるとき」の3曲目にあたる本曲。他の曲がどこか哲学的な内容となっているのに対し、「樹」と「風」の中におそらく今は無き「あなた」との思い出を重ね、「人は樹の中に思い出をしまい、風の中に記憶を委ねるのだ」と、どこか人間臭く、郷愁的に歌い上げる作品となっている。

今日も空は晴れている

一昨年から始まったプロジェクト『合唱ポップス』。3年目の今年は、『合唱ポップス』初のアカペラ曲を披露する。上記3曲がどこか郷愁的な雰囲気を持っていることに反し、「カレンダー破れば、未来のあの日は今日になる」と今と未来に対する希望をアップテンポに歌いあげる。フィンガースナップを活用し、思わず笑みが溢れるような楽しい曲となっている。

みなづきみのり“若き芸術家とのダイアログ”による
混声合唱とピアノとパーカッションのための

「エスノ・ラップ・ミサ」《完全版初演》

- I. Introduction & Canticum
- II. Shout: SlowRap
- III. Blues: FastRap
- IV. Prayer: MediumRap
- V. Choral & Canticum

千原 英喜 作曲 / みなづきみのり / ラテン語ミサ典礼文 詞

指 揮：伊東 恵司

ピ ア ノ：千原 英喜

パ ーカッション：樽井 美咲

Ethno-Rap-Mass (エスノ・ラップ・ミサ) の“Ethno”とは民族的、異国的の意ですが、ここでは特にアフリカ／インディアン系音楽を指すと捉えてください。“Rap”とは現代のヒップ・ホップ系音楽での歌唱法のひとつですが、ここでは“オーラルヒストリー／口頭伝承者”の意味合いを強くするものです。口頭伝承者とは、アフリカ／南米大陸の語り部たち、日本では「古事記」を口誦した稗田阿礼、また、「大旅行記」のアラビアのイブン・バットゥータ、「東方見聞録」のベネツィアのマルコ・ポーロらを想起いただければ良いでしょう。そしてみなづきみのりもこれら誉れ高い語り部のお一人となって壮大な世界を紡いでいって欲しいなあ～、というのがわたしの考えなのです。テキストにはミサ典礼文も出てきますが、主に合唱界における世界共通／普遍の祈りことば＝ラテン語聖歌、ということとこれを用いています。自由な精神でお聴きいただき、大きく想像力を羽ばたかせていただければ、と願っています。

親愛なるアンサンブル・ミカニエの

エスノ・ラップ・ミサ 混声版全曲の貫徹演奏の快挙を祈る！

エスノ・ラップ・ミサの第2曲の楽譜冒頭には「地中海に行くガレー船のように」との但し書きがある。ガレー船とはギリシア・古代ローマ時代の、たくさんの櫂がムカデの足のように船体の両側に突き出た船である。映画ベンハーやクレオパトラでご存知かと思う。要は、大勢で息を合わせ、力を合わせて進むというのが合唱と似ている。さらには唐の始皇帝陵の兵馬俑大軍団が雄叫びを上げて歌う、とのヴィジョンもある。斜めアングルの写真の兵馬俑は合唱団の整列に見えなくもない。この組曲の原曲＝男声合唱版は、東西四大学合唱演奏会での合同大合唱で大ホールを鳴らしまくる、という趣旨で作曲した。大合唱には、単純明快、いさぎよく、大胆に、とそれなりの音楽がある。

さて、阪本健悟君とアンサンブル・ミカニエである。「丸木舟で台湾から与那国島へ46時間。3万年前の日本人渡来ルートの実証成功！」との思いがある。スリー・ハンドレットという米映画を観たことがある。百万人のペルシャ兵に三百人のギリシア兵が勇猛に立ち向かうものだ。東西四大学男声合唱とミカニエ、いや作品とミカニエとのシチュエーションに似ていなくもない。長大な曲である。演奏ではとにかく頑張ろう。私も応援でキーボード（パーカッション的扱い）を弾かせていただく。伊東恵司先生、樽井美咲さん、我らがミカニエを、航路を示す太陽や星のごとくお導きください、我らがミカニエの歌が、勇気と希望と愛の賛歌となるようお導きください。

エスノ・ラップ・ミサ全曲初演にあたって、公募・みのりコース/みづきとみのりコースにご参加いただいた皆様に心からの感謝を申し上げます。ステージを大いに楽しんで歌っていきましょう！

千原 英喜

Comments

演奏会本番舞台が
縁遠くなって早1年半。
「ちょいミカ」に飛び
ついたものの、冷や汗
タラタラ…足ひっぱっ
たらゴメン

Alto TERRA

久々の和歌山での
演奏会にワクワクし
ています。心に残る
時間をお届けできる
よう、精いっぱい歌い
ます。

Soprano 酒井 侑子

本格的な合唱に参加
するのは初めてです。
合唱に参加して、出会
いもあり貴重な時間を
過ごさせていただき
ました。

Soprano 古久保 咲江

この時代に歌える
幸せをかみしめなが
ら歌います。皆さまに
とっても素敵な時間
になりますように。

Tenor 南 康平

大きい舞台、観客の
皆様の前で、歌う
ことができる喜び
を全身で味わいな
がら、精いっぱい歌い
ます！

Tenor まつひこ

今だからこそ、音楽
(合唱)ってやっぱり
いいなあ、と感じて
もらえるような演奏を
届けたいと思います。

Bass 山中 一弘

この度は大好きな作曲
家である千原英喜先生
の曲を素敵なホールで
ミカニエさんと一緒に
歌えることに喜び一杯
です。

Soprano 山内 美鈴

コロナ禍の中、思い
のほか‘合唱’熱に
浮かされ、3年ぶりの
‘ちょいミカ’参加♪
小ホールの響き、
たのしみます☆

Alto kyan

約三年ぶりに合唱を
する機会に巡り合い
とても嬉しいです。
やっぱり合唱って楽し
いな！精一杯幸せを
かみしめます！

Soprano まえぼん

またミカニエの皆さん
とご一緒でき、とても
嬉しいです。ステージ
楽しみです。楽しく
しっかり歌いたいと
思います♪

Alto ひとみ

ご来場ありがとうございます。
久しぶりの
地元演奏会！歌う
喜びを噛み締めつつ
楽しく真剣に。よろ
しく願います♪

Tenor 谷上 直紀

ひよんな事からご縁が
ありこの舞台に立た
せていただいています。
ラップ部分は猛練習
しました。頑張って
歌います♪

Soprano ヨシダキヨミ

新参者ですが、良い
演奏が出来る様に
全力を出したいと思
います。今宵はぜひお
楽しみください。

Bass 上堀内 武尉

初出演のミカニエの
定期演奏会。フレッ
シュな気持ちで会場
いっぱいに歌声を
響かせられるよう
頑張ります。

Bass 則藤 剛志

演奏会に参加出来る
事、感謝です。終わ
りのない恋に思いを
寄せ、ラップのリズ
ムに乗って！心を込
めて歌います♪

Soprano 岩ちゃん

圧倒的なミカニエ
さんの歌声といつか
一緒に歌いたい！と
密かに思っていました。
夢のステージ
頑張ります！

Alto ゆうこりん

「早くあらゆる制限
から解放されたい」。
本番はそんな想いを
爆発させて、ひとつ
ひとつの曲を大切に
演奏します。

Soprano 金田 菜歩

演奏会に足を運んで
くださりありがとうございます。
皆様にとって良い時間になり
ますよう頑張っています。

Alto 阪本 彩那

憧れのミカニエさん
の舞台と一緒に歌わ
せてもらえる貴重な
機会。とても嬉しく
楽しみにしています。
ワクワク☆

Soprano 曾我部 恵理

無限に見えるものは
実は有限で、すべて
は夢幻のこと。無限
な彼方に向けた音楽
は木とともに。

Alto 阪本 潤子

久しぶりで緊張しま
すが、周りの皆さんに
助けて頂きながら、
楽しみたいと思います。
やらかしたらゴメン
ナサイ

Bass 宮崎 啓

Comments

歌うと、背中ピン！
からだホカホカ、
声だしてスッキリ♪
私の健やかな源は
憧れのミカニエさんに
交じれて光栄です。

Soprano 松永 久穂子

ミカニエの演奏会は
12年連続出演。
テナーとしては9年
ぶり4回目です。
新しいホールで楽しく
歌いたいと思います！

Tenor 竹内 宏明

奏でるハーモニーに
感動した『ちよい
ミカ』2回目の参加
です。『心の癒し』
を有難うございました。

Alto ~T~

しばらく合唱をしてい
なかったので、久々に
歌える機会をいただき、
嬉しく思います。楽し
んで舞台上で歌いたい
です。

Bass 藤田

有名な先生方のナマ指
揮とナマピアノでの
オンステ☆「エスノ
ラップ・ミサ」「終わ
りのない歌」を幸せ気
分で楽しみたいです。

Soprano さの ふゆこ

聴いてくださる皆様
には大切な時間と
なりますように。
心に寄り添える歌を
お届けします。

Bass 天羽 博和

作曲家ご本人と演奏
できる貴重な機会を
いただけたことに
感謝です。楽しみ
ながら歌いたいと
思います。

Soprano S

舞台上で皆さんと一緒
に歌えることがとても
うれしいです。精一杯
楽しみたいと思いま
す！

Soprano かな

今年も多くの仲間と、
素敵なゲストと、ご
来場・ご視聴くださる
皆さまと音楽の時間を
共有できること、とても
幸せです！

Alto 谷口 奈緒子

密度の高い、そして
楽しい練習体験で
した。一緒に歌わせ
て頂ける事、心から
感謝しています。

Soprano 山口 智子

歌わせて頂ける場所を
ちよいミカステージに
授かったことに感謝。
先生方の楽曲にこんな
真近で感じられること
に感謝。

Alto さおり

ミカニエさんの
素晴らしい演奏！
壊さないように
歌います。

Tenor tetu

今年も演奏会が開催
できて嬉しいです♪
「ミカニエいいわあ〜」
って思っていたける
演奏にしたいと思いま
す！

Soprano 澤田 あずみ

皆で歌えない時勢が
続く中、演奏会に参加
させていただいたこと
を嬉しく思います。
全力で出し切りたく
思います！

Tenor 大久保 昂汰

今年も演奏会を開催
出来ること、そして
和歌山でたくさんの人
と素敵な時間を過ご
せることを嬉しく
思います。

Soprano 中山 千佳

ちよいミカで参加させ
て頂けて幸せ！感謝！
皆様のハーモニーを
邪魔しないように、
でも精一杯楽しく
歌いたいです♡

Alto tomoニャン

新しいホールでの
合唱。響きにワクワク
しながら、素敵なミカ
ニエの皆さまと歌わ
せていただきます！

Soprano 孝子

私がミカニエの綺麗な
ハーモニーに魅了され
たように、皆様にも
心にスッと染み渡る
ハーモニーをお届け
したいです。

Soprano 日高 愛

初めてとなるミカニエ
の定期演奏会。聴いて
くださるお客様にミカ
ニエの良さを届けられ
るよう、精いっぱい
頑張ります！

Bass 下埜 健吾

最初で最後かもしれ
ない公募のステージで
いつもとは違う響きと
ハーモニーを楽しみ
ながら歌いたいです。
全力で！

Alto song

新しいホールで良い
演奏が出来るよう
頑張ります！単独に
加え、ちよいミカの
皆様と2ステージ歌え
るのも楽しみです。

Alto 橋本 彩世

銀色夏生さん！学生
時代が懐かしく、
歌いたくなり参加しま
した。本日のステージ、
心は？歳に戻って楽し
みます♪

Soprano 中村 志穂

第3回ミカニエ座談会

なんと、第3回定期演奏会以来、11年ぶりとなるミカニエ座談会！
古参のファンの皆様には懐かしい、新しいファンの皆様には新鮮な企画となっております。
合唱に関係することからしないことまで、様々なテーマでトークしました。
演奏会ではお伝え出来ない、普段のミカニエを感じ取っていただければ嬉しいです！

合唱を始めたきっかけ～合唱をやりたい!という人が多いと思いきや…～

A:じゃあまず私から。私は、元々合唱をやってなくて、ピアノをずっとやってたんです。たまに合唱のピアノをやる機会はあったんですけど、歌うようになったのは、ミカニエの第2回定期演奏会にピアニストとして共演した後、阪本先生から「合唱もやってみないかい?」と誘っていただいたのがきっかけですね。共演した第2回演奏会で、ピアノを弾いていなかった他の曲も楽しそうだなと思っていたので、迷わずOKしました!

B:もともとミカニエに合唱人として入ったわけじゃなかったんですね、知らなかった!

C:でも、そのころと比べて、ピアノ上手くなったよね。

A:一人で演奏するだけじゃなくて、合唱団や阪本先生をはじめとする指揮者の方々とアンサンブルする機会が増えたことで、成長できた気がします!

B:じゃあ次は僕が。合唱に興味を持ったきっかけは、小5の時に、卒業式で在校生から卒業生へ合唱を送るっていう伝統があってその指揮をやらされたことですかね。

C:ピアノとかやってたんだっけ?

B:ピアノとか音楽系は全く。他のクラスの女子がピアニストだったんで、自分のクラスから背の高い男子が…ということで押し付けられました(笑)それからは、クラス合唱の指揮とかもやって、なんとなく合唱楽しいなーとは思ってましたね。合唱部に入ったのは高校からなんですけど、もともと合唱部に行くつもりはなかったんですよ。中学校からやってたテニスを続けようと思ってたんですけど、コートに行ってみたら先輩の柄が悪くて、ここではやっていけないなど。それで他の部活見てみようかなと教室戻ってる途中で、同じクラスの子を見つけて、付いてって見たら合唱部だったって感じです。

C:もし、そこでその友達と会ってなかったら合唱やってた?

B:多分やってないですね。そこで別の部活に行ったら、合唱を始めることにはなってなかったと思うのでほんとに奇遇ですね。

D:次は、僕が。大学から合唱始めたんですけど、入るきっかけは、男声合唱サークルのブースに行きまくってたからですね。というのも、当時ブースに行くと、弁当くれるシステムがあって、通ってたら、入ってたって感じです。

B:大学の男声合唱団っばいズルい手段ですねー(笑)

合唱以外のマイブーム～団員同士も知らなかったあんな一面やこんな一面が…～

E:んー、今は仕事が忙しすぎてあんまりできることないですけど、あえて言えば株式に興味持ち始めました!

一同:いや、仕事嫌すぎて、株式で生きていく気満々じゃん!

E:今は、そんながっつりは手を出してなくて、全然仕事辞める気ないですよ!

B:でも、Eみたいなまじめなタイプが株を始めたら、全然これで生きていけるじゃんってなると思うよ(笑)

C:ほんとに直近で言うと、パーソナルカラー診断のYouTubeを見るのにハマってるかな。手首の血管の色とか、目の色とか、髪の色とか質で、こういう色が合うっていうのを診断できるってやつ。

一同:(手首の血管の色を見るが、いまいち分からない人多数(笑))

C:自分のだけ見ると違いが分からないから、他の人と比較したり、動画見たりしながらすると分かりやすいと思うよ!(是非興味を持った方はやってみてください!)

F:万年筆のインク集めですかね。もともと万年筆は使っていて、何色かインクを持ってたんですけど、「マツコの知らない世界」で万年筆のインクを特集してるの見て、他の色も欲しくなって集め始めました。

D:鬼滅の刃にはまる母みたいな感じか!

一同:??? ちょっと、それは違くないか…(笑)

D:例えミスったー(笑) ちなみに、そのインクって使ったりしてるの?

F:使わないと、部屋の一角にちっちゃな東急ハンズやLOFTができるだけなんで使ってますよ!手帳を書くときとか、簡単な絵を描くときに使ってます。



(左) Fさんの万年筆インクコレクション!これでもごくごく一部です
(上) Fさん直筆の団名
緑色のインクは和歌山をイメージして作られたものです!

G:僕は、コロナ禍で家飲みすることが多くなったんですけど、いかにコスパ良く美味しいお酒飲むかってのにチャレンジしてますね。今は、業務スーパーの安いワインと安いソフトドリンクを混ぜていかにコスパ最強なお酒を飲むかってのにチャレンジしてます。

D:ちなみに、今のところのおすすめは?

G:「ワイン」って書いてある安い赤ワインと、「コーラ」って書いてある安いコーラを混ぜるのがおいしいです(興味のある方は、ぜひお試しを!)(笑))

合唱の好きなのところ～必ずしも歌うことが好きじゃない人も？～

E:うーん、一人で成立しない、完結しない芸術である一方で、一定のルールがあるっていう、秩序と自由な部分が同居しててそれが高い次元で交わっている感じが好きかなと思います。

A:小難しいこと言うねー。

先生:20代だから許されるけど、これがおっさんだったら聞いてられんぞ(笑)

C:もともとは合唱好きでやってたかもしれないけど、今は好きかと言われると…。さっきの話に絡めると、一人じゃできないからこそ、一人でも抜けるとできないから、抜けられなくなってる部分もあるかも。

A:あれっ、合唱の好きなのところを話すところでは…

C:ただ、一人だったら飽きてやめてただろうし、みんなと歌っているからこそ、続けられてると思ってるよ！あとは、ゾワってするくらい感動する演奏に触れたとき、こういう演奏をしたいなと思ってきたかな。けど、久しぶりに多くの人の前で歌ってみて、ああ楽しそうに歌ってるな、聴きにきて良かったと思ってもらえるような演奏しなくちゃなと、心を改めました(笑)定演もそんな感想を持ってもらえるようにしたいなと思ってます！

B:僕も、正直、歌うのが今も好きかと言われると、うーんって感じです。もちろん、皆さんと歌っているのは楽しいですし、今回の定演の曲もすごく魅力を感じています。ただ、なんで合唱を続けてるかとか聞かれれば、合唱をやっていないと関わることがないような、老若男女様々な人と出会えるってことですかね。今回、ちょいミカという形でミカニエ以外の方々と一緒に歌う機会ができたのもそうですし、今回、お手伝いさせてもらった合唱の祭典でも、合唱してなければ会えないような、小中高生やご年配の方まで会って関わることができるってのは魅力だと思うし、だからこそ、合唱を続けて、様々なイベントのスタッフをやることで、これからも多くの人と関わっていきたいなと思ってます。

C:めっちゃ紙面に載りそうな意見だね(実際に載せさせていただきましたm(__)m)

D:では、このテーマは先生からもお願いします！

先生:根本的に、合唱が好きかとか聞かれれば、ボクは合唱が好きでも嫌いでもない。合唱は、自分の中で必然なもの、ミッションのようなものだと思うてる。

C:中二病？

先生:違う違う!まあ、合唱のいいところというか、さっきのみんなの話を聞いてて思ったことを。さっきみんなが「合唱は一人ではできない」って言ってたけど、自分はちょっと違って、「一人じゃなくてできるモノ」って感じ。声楽家なら、自分一人で歌い切らなくちゃいけないけど、合唱なら、周りの人と補い合ってできるし、実力がなくて歌えないような難曲でも歌えるってのが魅力じゃないかな。自分の持っている以上の力を発揮できる場として合唱ってあるんじゃないかなと。

あと、演奏会終わった後の感覚とかは、歌ってる人とは違って、指揮者は、演奏中、お客さんの顔は見れないから、演奏後の拍手でいろんなことを背中を感じられるってのは指揮者の特権かな。歌い手だと、つまらなそうな人いるなーとか、あいつ寝てんじゃん!とかあるかもしれないけど、そういうことが指揮者にはないから、その拍手で演奏をどう感じてくださったかを感じ取れるのは面白いなって思うかな。

最後に、各ステージの見どころをお願いします。

A: 第1ステージは、クラシックを詳しく知らない方でも名前は聞いたことがあるであろう、あのブラームスの名曲が合唱で楽しめる場所ですね!

「あっ、このメロディーどこかで聞き覚えがある。」など演奏中に懐かしさを感じながら聴いていただけたらありがたいと思います。

B: 第2ステージの見どころは何といっても、本演奏会最大の40人強での演奏ですかね。本当に多くの”ちょいミカ”参加者が来てくださったおかげで、普段のミカニエは出来ないスケールの大きな演奏を届けられるのではないかと思います。もう一つの見どころは、矢吹先生のピアノ!歌い手に寄り添ってくださり、まるで歌っているかのようなピアノを奏でてくださいませ。矢吹先生のピアノ“は”良かったという感想にならないよう、我々も頑張らねば…

D: 第3ステージは、松本望先生作曲のアカペラステージです!ここ数年、松本望先生と共演させていただける機会が続いていたので、ミカニエの演奏会に行けば松本望先生のピアノが聞けるのでは?と期待していた方は申し訳ございません!そのお楽しみは来年に!今回はアカペラにて松本望先生の魅力を楽しんで下さい。曲の素晴らしさが伝わるようにミカニエもしっかり演奏しますので、温かい拍手の準備をお願いしておきます(笑)

E: 第4ステージは、エスノ・ラップ・ミサ。男声版の誕生から4年、ついに混声版の全曲初演となりました。“エスノ”、“ラップ”、“ミサ”と、一見すれば全く異なったイメージが想起される単語の組み合わせのタイトルですが、聴き終わるころには、タイトルにご納得いただけると思います!本日、パーカッションは男声版初演時と同じく樽井美咲先生、ピアノは作曲された千原英喜先生、ナレーターは…お楽しみに!昨年はコロナ禍の制約もあり、一部抜粋という形で皆様の前で披露させていただいた本作品でしたが、今回は“ちょいミカ”の皆さまと共に、全曲演奏が実現しました。長いステージとなりますので、皆様ごゆっくりお楽しみください!

編集後記

11年ぶりとなったミカニエ座談会いかがだったでしょうか。当時からメンバー構成も様変わりし、団としての雰囲気も変わってきたミカニエのことを少しでも知ってもらえれば嬉しいです。コロナ禍で団員同士の交流がしづらい中、団員にとってもよい機会となりました。

座談会を読んで、「あれっ、私、ここの合唱団で歌いたいかも♪」と思った方はぜひ見学にお越しください!ミカニエはいつでも新入団員をお待ちしております!

そして、「こんな思いを持った合唱団好き!」と思った方は、ぜひSNSをフォローいただき、ミカニエが参加する様々なイベントへお越しいただく”ミカニエファン”になっていただければ嬉しいです。



座談会は、演奏会の会場
”和歌山城ホール”の前で行いました!
ここでは、テイクアウト可能なお店や、
屋外で食事できるスペースがあります。
ご来場の方は是非ご利用ください!